

青年費	一五〇〇〇
計	三三〇八〇〇

四、運動方針大綱

一、客觀的情勢

1 國際的情勢

世界資本主義の最も強力なアメリカの覇權を根柢からユリ動かした株式恐慌以來、世界の資本主義國、日本、イギリス、ドイツ、フランス、支那印度植民地では不景氣が益々ヒドクなり、世界資本主義は、自己の生命を一日でも長くつなぐことに必死となつてモガいてゐる、そのために労働者農民の反抗、革命的闘争を抑へつけて、自己の忠實なドレイとするために、今迄の温情主義を捨て、一切の反動勢力を動員し、ファシスト獨裁へと突き進んでゐる、殊に殊り進へされる國際聯盟會議は植民地、半植民地を奪ひ合ふ爲めの第二次世界戦争と労働者農民の祖國ソヴェエト・ロシア戦争の共同戦争を張つてゐる。

資本家地主の國では労働者農民を抑へつけ窮乏泥沼の底にキエト